

【技術の名称】 e プレート工法 ーCFRP 板を用いた既存 RC, SRC 梁、RC スラブ および S 梁の曲げ補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 07-24 号 性能証明発効日：2008 年 1 月 8 日 【取得者】 株式会社コンステック 三菱化学産資株式会社（現：三菱樹脂株式会社）
--	---

【技術の概要】

本技術は、既存の鉄筋コンクリート造 (RC) 梁、鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 梁、鉄筋コンクリート造 (RC) スラブおよび鉄骨造 (S) 梁について、既存部材表面に炭素繊維強化プラスチック (CFRP) 板を粘性の高いパテ状エポキシ樹脂接着剤を用いて貼り付け、既存部材の曲げ強度あるいは曲げ剛性を高める曲げ補強工法である。本工法は、(株)コンステックと三菱樹脂(株)の2社が開発した工法であり、本工法で用いる CFRP 板は、炭素繊維を引き抜き成形法で板状に加工した三菱樹脂(株)の製品(商品名：e プレート)である。e プレートには、引張強度と弾性係数がそれぞれ異なる高強度 (GM) タイプと高剛性 (HM) タイプの 2 種類があり、両タイプは補強目標の曲げ強度と曲げ剛性によって使い分けられる。

【技術開発の趣旨】

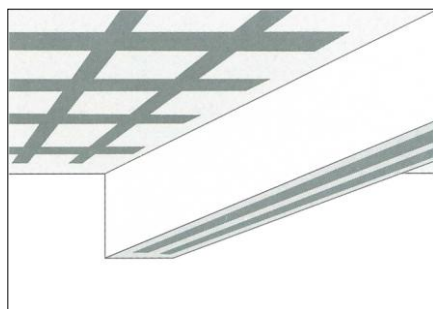
本工法は、既存建築物における用途変更に伴う積載荷重の増加などに対して、所要の曲げ補強効果を確保できること、そして高い施工性を実現することを意図して開発されている。

【性能証明の内容】

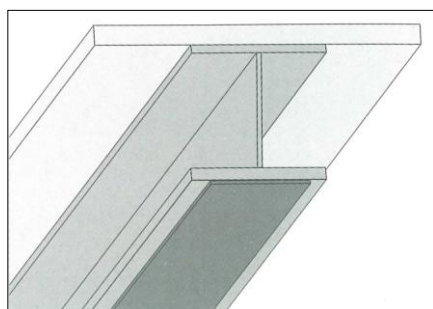
申込者提案の設計指針に従って設計した既存 RC 梁、SRC 梁、RC スラブおよび S 梁の表面に e プレートを貼り付けた曲げ補強部材は、それぞれ長期荷重時に所要の耐力余裕度を有するとともに、使用性を損なう恐れのあるひび割れ等の損傷を生じないと判断される。



e プレートの荷姿



RC 造（梁，スラブ）曲げ補強例



S 造（梁）曲げ補強例

【本技術の間合せ先】

株式会社コンステック 担当者：矢野努
〒140-0001 東京都品川区北品川 1-8-11
三菱樹脂株式会社 担当者：久部修弘
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-2-2

E-mail：yano-tsutomu@cons-hd.co.jp
TEL：03-3458-0447 FAX：03-5715-2156
E-mail：hisabe.nobuhiro@mb.mpi.co.jp
TEL：03-3279-3089 FAX：03-3279-6638